

2016年4月21日

株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 12-5 小伝馬町YSビル
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報部 03-3664-5697
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

「健康寿命延伸」が支えるシニア関連市場に注目

国内ペット関連市場を調査

2017年国内市場予測(2015年比)

ペット関連市場	4,268億円(2.6%増)	ペットフードが引き続き市場をけん引
キャットフード	1,249億円(4.9%増)	レトルトパウチ製品を中心に市場拡大
ペット保険	134.5万件(26.3%増)	ペットオーナーにおける認知度向上

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811)は、猫ブームの到来で活況を呈しているペット関連市場について「ペットフード」「ペットケア用品」「ペット生活用品」の3つのカテゴリーから捉え、最新市場動向を把握した。

その結果を報告書「2016年 ペット関連市場マーケティング総覧」にまとめた。

この報告書では、ペットフード10品目、ペットケア用品10品目、ペット生活用品10品目の市場と販売チャネルの動向を調査した。また、生体市場や、注目ビジネスとしてペット保険、ペット用脱臭・消臭機/空気清浄機に加え、新たにペット用再生医療の市場も取り上げた。さらに、ペットオーナーへの飼育状況やペットフード/用品購買動向のWebアンケートも実施した。

<調査結果の概要>

国内ペット関連市場

	2015年	2017年予測	2015年比
ペットフード	3,041億円	3,135億円	103.1%
ペットケア用品	727億円	742億円	102.1%
ペット生活用品	392億円	392億円	100.0%
合計	4,159億円	4,268億円	102.6%

数字は四捨五入して億円単位にしているため必ずしも合計と一致しない

2015年のペット関連市場は、市場の大半を占めているペットフードとそれに次ぐペットケア用品が微増となり、前年比1.7%増の4,159億円となった。

ペットフードは、ドッグフードは前年割れとなったが、キャットフードはレトルトパウチ製品が前年に引き続き好調となり、小動物用フードは特にプレミアムタイプのウサギ用フードの需要が伸びるなど、市場が前年比1.8%増の3,041億円となった。

ペットケア用品は、市場の8割以上を占めるトイレ/トイレ用シート、猫砂、オムツといった排泄ケア用品の動向が市場を左右している。2015年は、猫砂において紙系猫砂とシステムトイレ用猫砂が前年に引き続き拡大した他、オムツではマナー訴求品が新規ユーザーの開拓に成功したことで排泄ケア用品が拡大しており、市場が前年比2.1%増の727億円となった。

ペット生活用品は、近年の生体販売の不振に伴い苦戦が続いている。中でもこれまで市場形成の主体であった衣類、ハウス、首輪などの不調が目立ち、市場が前年割れの392億円となった。一方、自動給水器本体とリフィル品の需要が拡大した食器・給水器や、積極的な新商品の投入によりユーザーの買い替え需要を喚起している玩具は好調となっており、低迷が続く市場を下支えしている。

<注目市場>

キャットフード

	2015年	2017年予測	2015年比
ドライタイプ	644億円	666億円	103.4%
ウェットタイプ	548億円	584億円	106.6%
合計	1,191億円	1,249億円	104.9%

数字は四捨五入して億円単位にしているため必ずしも合計と一致しない

2015年のキャットフード市場は、メディアや雑誌などで猫の特集が組まれるなど、猫ブームが到来したことで参入各社の注力度も高まり、前年比4.7%増の1,191億円と前年を上回る増加となった。好き嫌いの激しい猫が食べ飽きを起こさないように様々な味のキャットフードが展開されており、中でもレトルトパウチ製品が食べきりサイズであることや嗜好性の高さ、水分補給ができることなどから特に好調となっている。

今後は、シニア猫の増加により、シニア対応製品がさらに活性化すると予想される。

ペット用消臭剤/脱臭剤

	2015年	2017年予測	2015年比
	17億円	18億円	105.9%

2015年のペット用消臭剤/脱臭剤市場は17億円となった。低価格訴求製品やペット専用品としての差別化が困難な製品では、家庭用製品との競合が起きており、市場が伸び悩んでいる。一方でペットに対する衛生意識の高まりにより、糞尿臭・マーキング臭対策に特化した高機能製品の需要が拡大し、市場をけん引している。

今後は、利用目的や利用シーンにより細分化した製品と、消臭機能に忌避剤やしつけ剤の効果を併せ持った消臭機能+ の多機能製品とで二極化していくと予想される。

ペット保険

	2015年	2017年予測	2015年比
保有契約件数	106.5万件	134.5万件	126.3%

数値は各年次12月末時点

ペットが病気や怪我をし、動物病院などで医療行為を受けた際、その医療費の負担額に対して補償されるサービスを対象とする。

2015年のペット保険契約件数は、ペット保険の認知度向上や新規企業参入などで好調となり、前年に続き二桁増加となった。年々高度化する獣医療技術により、高額の治療費が発生するケースも増えるなど、ペットオーナーのペット保険に対する関心は高まっている。一方で、ペット保険対応動物病院の増加に伴い、参入各社とも保険商品を改定するなど損害率の改善が不可欠となっている。

欧米と比較すると国内におけるペット保険加入率は低いことから、今後ペット保険の認知度向上に伴い、契約件数も堅調に伸びると予想される。

ペット再生医療

コンパニオンアニマル化やペットの高齢化の進展に伴い、ペットオーナーがペットのために用いる金額が増加しつつあり、難疾患の治療やその治療におけるQOL向上が期待できる再生医療に注目が集まっている。再生医療を治療の選択肢の一つとする病院が増加しているが、現状では、犬や猫を対象とした正式な治療として認められておらず、獣医師がペットオーナーの協力を得て行う「医師主導型臨床研究」の一環としての実施が一般的である。

今後のペット再生医療の普及には細胞医薬品としての承認が不可欠であり、関係各社による細胞医薬品への承認に向けた取り組みの活発化や、再生医療の保障適用を念頭に置いたペット保険各社との連携強化などが予想される。

<調査対象>

ペットフード		
ドッグフード	観賞魚用フード	ミルク
キャットフード	小鳥・観賞鳥用フード	療法食
プレミアムフード	小動物用フード	
スナック	サプリメント	
ペットケア用品		
猫砂	しつけ剤	イヤークリーナー
トイレ/トイレ用シート	消臭剤/脱臭剤	デンタルケア用品
オムツ	防虫剤/殺虫剤	
ペット用トイレタリー	シャンプー類	
ペット生活用品		
首輪/胴輪/引紐	ブラシ/クシ	ハウス
ベッド/マット/ヒーター	食器/給水器	水槽/周辺器具
ケージ/サークル・ゲート	玩具	
キャリー	衣類	
注目ビジネス		
ペット保険	ペット用脱臭・消臭機/空気清浄機	ペット再生医療
ペットオーナー調査		
ペット飼育状況調査 (ペット飼育状況、ペット関連サービス、動物病院の利用状況など) ... 10,000名 ペットフード/用品需要動向調査 (飼育頭数・環境・年齢、ペットフード/用品別購入状況など) ... 犬飼育者294名、猫飼育者326名		

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業及び関連企業・団体などへのヒアリング及び関連文献調査、社内データベースを併用。また、Webアンケートによるユーザー調査

<調査期間>

2015年12月～2016年3月

以上

資料タイトル：「2016年 ペット関連市場マーケティング総覧」
体 裁：A4判 302頁
価 格：書籍版 130,000円+税
PDF版 130,000円+税
書籍版・PDF版セット 150,000円+税
書籍版・ネットワークパッケージ版セット 260,000円+税
発 行 所：株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル
TEL：03-3664-5811(代) FAX：03-3661-0165
https://www.fuji-keizai.co.jp/ e-mail： info@fuji-keizai.co.jp
調 査・編 集：大阪マーケティング本部 第一部
TEL：06-6228-2020 FAX：06-6228-2030
この情報はホームページでもご覧いただけます。URL： http://www.group.fuji-keizai.co.jp/